

第80回国民スポーツ大会  
青森県準備委員会

第5回競技運営専門委員会



期日：平成31年3月28日（木）

場所：青森県庁 東棟4階 B会議室

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会  
第5回競技運営専門委員会資料目次

○ 会次第	P 1
○ 委員名簿	P 2
○ 報告事項	
1 第80回国民スポーツ大会準備経過	P 3
2 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会決定事項	P 6
3 第80回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ競技名の変更	P 7
○ 審議事項	
・第80回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ会場地市町村 第二次選定（案）	(別冊)
○ 参考資料	
・第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回常任委員会決定事項	P 8

# 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会 第5回競技運営専門委員会 次第

日時：平成31年3月28日（木）

13：30～14：30

場所：青森県庁 東棟4階 B会議室

## 1 開会

## 2 報告事項

- (1) 第80回国民スポーツ大会準備経過
- (2) 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会決定事項
- (3) 第80回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ競技名の変更

## 3 審議事項

- ・第80回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ会場地市町村第二次選定（案）

## 4 その他

## 5 閉会

## 競技運営専門委員会 委員名簿

(順不同：敬称略)

分 野	機関・団体名及び役職名	氏 名
体育・スポーツ 関係	公益財団法人青森県体育協会 競技力向上委員長 (兼スポーツ推進審議会)	岡村 良久
	公益財団法人青森県体育協会 スポーツ振興課長	山口 哲寛
	一般財団法人青森陸上競技協会 理事長(事務局長)	安田 信昭
	青森県水泳連盟 事務局長	木村 聖士
	一般社団法人青森県サッカー協会 事務局長	石原 静子
	青森県テニス協会 事務局長	渡辺 修平
	青森県バレーボール協会 事務局長	鳴海 安久
	一般財団法人青森県バスケットボール協会 事務局長	板 橋 徹
	青森県柔道連盟 理事長(事務局長)	福田 昌由
学校関係	青森県中学校体育連盟 理事長	塩 谷 貴
	青森県高等学校体育連盟 理事長	工藤 清彦
学識経験者	国立大学法人弘前大学大学院医学研究科 リハビリテーション医学講座 教授	津田 英一
	公立大学法人青森公立大学経営経済学部 教授	飯田 俊郎
	八戸学院大学健康医療学部 准教授	高 嶋 涉
県関係	青森県教育庁スポーツ健康課 課長	相 坂 譲

第80回国民スポーツ大会準備経過

年 月 日	内 容
平成25年 6月24日	公益財団法人青森県体育協会（以下「県体育協会」とする。）が、平成37年に開催の第80回国民体育大会本大会の招致に関する要望書を県、県議会及び県教育委員会に提出
平成26年 6月28日 ～平成27年 7月23日	県教育委員会において、青森県国体検討懇話会を設置し、「青森県らしい国体のあり方」等について検討（全6回開催）
8月26日	青森県国体検討懇話会の検討結果報告書について、同懇話会座長が知事及び教育長に報告
9月10日	平成27年度第2回青森県総合教育会議において、第80回国民体育大会本大会の招致について知事と教育委員会が協議
9月18日	平成27年9月青森県議会第283回定例会冒頭の提出議案知事説明において、知事が平成37年に開催される第80回国民体育大会本大会の本県招致について表明
10月 9日	同上定例会において、県議会が「第80回国民体育大会の招致に関する決議」を全会一致で可決
11月20日	知事、教育長、県体育協会会長が、文部科学省と公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出
平成28年 1月13日	公益財団法人日本体育協会理事会において、開催申請書提出順序の了解（開催内々定）
4月 1日	県教育庁スポーツ健康課内に国体準備室を設置（5名体制）
8月31日	第80回国民体育大会青森県準備委員会設立総会・第1回総会及び第1回常任委員会を開催
10月21日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回総務企画専門委員会を開催
10月25日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回競技運営専門委員会を開催
11月10日	第80回国民体育大会市町村担当者会議及び競技団体担当者会議を開催
平成29年 3月28日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回総務企画専門委員会を開催
4月 1日	国体準備室員を増員（7名体制）
4月19日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回常任委員会を開催

年 月 日	内 容
5月24日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回総会を開催
7月13日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回競技運営専門委員会を開催
7月20日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回広報・県民運動専門委員会を開催
8月30日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回施設専門委員会を開催
10月23日	第80回国民体育大会第1回会場地市町村・競技団体担当者会議を開催
10月26日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回競技運営専門委員会を開催
11月 1日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回総務企画専門委員会を開催
12月12日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第4回総務企画専門委員会を開催
12月18日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回広報・県民運動専門委員会を開催
平成30年 1月15日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回常任委員会を開催
1月22日	第80回国民体育大会青森県準備委員会総務企画専門委員会第1回開催基本構想策定検討部会を開催
1月24日	第80回国民体育大会第1回公開競技・デモンストラーションスポーツ担当者会議及び第2回市町村担当者会議を開催
3月14日	第80回国民体育大会青森県準備委員会総務企画専門委員会第2回開催基本構想策定検討部会を開催
4月 1日	国体準備室員を増員（8名体制）
5月14日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第5回総務企画専門委員会を開催
5月15日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回広報・県民運動専門委員会を開催

年 月 日	内 容
平成30年 6月 6日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第4回常任委員会を開催
7月10日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回総会を開催
8月30日	第80回国民体育大会青森県準備委員会を第80回国民スポーツ大会準備委員会に改称
9月 5日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第2回施設専門委員会を開催
<b>10月18日</b>	<b>第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第4回競技運営専門委員会を開催</b>
11月 1日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第4回広報・県民運動専門委員会を開催
〃	国体準備室を国民スポーツ大会準備室に改称
11月16日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回総務企画専門委員会を開催
12月21日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回常任委員会を開催



## 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会決定事項

第4回競技運営専門委員会以降に開催した常任委員会での決定事項は、下記のとおりである。

### 記

#### 1 第5回常任委員会決定事項【平成30年12月21日開催】

- ・第80回国民スポーツ大会開催基本構想
- ・第80回国民スポーツ大会正式競技追加競技種目・種別等の変更
- ・第80回国民スポーツ大会競技会場の変更
- ・第80回国民スポーツ大会会場地市町村第四次選定
- ・第80回国民スポーツ大会デモンストラーションスポーツ会場地市町村第一次選定
- ・第80回国民スポーツ大会審判員・要資格運営員養成計画改正
- ・第80回国民スポーツ大会県民運動基本方針

## 第80回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ競技名の変更

変更前	変更後
スポーツ吹矢	スポーツウェルネス吹矢

- 1 変更理由 2019年4月1日より、団体名称が一般社団法人日本スポーツ吹矢協会から一般社団法人日本スポーツウェルネス吹矢協会へ変更になることに伴い競技名称も変更となる。

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会  
第5回常任委員会決定事項

目 次

1	第80回国民スポーツ大会開催基本構想	P. 1
2	第80回国民スポーツ大会正式競技追加競技種目・種別等の変更	P. 11
3	第80回国民スポーツ大会競技会場の変更	P. 12
4	第80回国民スポーツ大会会場地市町村第四次選定	P. 13
5	第80回国民スポーツ大会デモンストラーションスポーツ会場地市町村第一次選定	P. 14
6	第80回国民スポーツ大会審判員・要資格運営員養成計画改正	P. 15
7	第80回国民スポーツ大会県民運動基本方針	P. 19

平成30年12月21日  
第5回常任委員会 決定

# 第80回国民スポーツ大会開催基本構想



平成30年12月

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会

## 目 次

はじめに 第80回国民スポーツ大会開催基本構想の策定に当たって ～48年ぶりの青森県開催に向けて～	P. 1
第1章 第80回国民スポーツ大会の開催に向けて	P. 2
1 国民スポーツ大会とは	
2 国民スポーツ大会のあゆみ	
3 国民スポーツ大会の課題と改革	
4 青森県での開催意義	
第2章 第80回国民スポーツ大会の基本目標と目指す方向	P. 5
1 基本目標	
2 目指す方向	
第3章 基本目標の実現に向けた取組	P. 6
1 県民の誰もがスポーツに親しむ国スポ	
2 県民が自発的、積極的に参加する国スポ	
3 来県者を熱い心でおもてなしする国スポ	
第4章 「スポーツが盛んな青森県」の実現に向けて	P. 8

はじめに 第80回国民スポーツ大会開催基本構想の策定に当たって  
～48年ぶりの青森県開催に向けて～

国民スポーツ大会は、国民体育大会（国体）の名称で、昭和21年（1946年）に京都を中心とした京阪神地域で第1回が開催されて以来、都道府県持ち回りで開催されている国内最大のスポーツの祭典であり、国民の健康増進と体力向上、地方スポーツの振興と地方文化の発展等に寄与してきました。

青森県では、昭和52年（1977年）に「心ゆたかに 力たくましく」のローガンの下、第32回国民体育大会「あすなる国体」が、初の完全国体（冬季、夏・秋季の全種目を同一県内で開催）により県内各地で開催し、本県のスポーツ振興に多大な影響を与えるとともに、完全国体を成し遂げた県民の自信と誇りは、その後の県勢発展の大きな原動力となりました。

前回開催から48年ぶりとなる2025年に青森県で第80回国民スポーツ大会を開催します。

この開催基本構想は、「青森県基本計画」において本県が目指す「スポーツが盛んな青森県」を踏まえ制定した「第80回国民スポーツ大会開催基本方針（平成28年8月31日 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回総会決定）」に基づき、大会の開催及び開催準備の指針となる基本目標とその実現に向けた方向性を明らかにするものです。

## 第1章 第80回国民スポーツ大会の開催に向けて

### 1 国民スポーツ大会（国スポ）とは

国スポは、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を目指し、地方スポーツの推進と地方文化の発展を図ることを目的として、毎年開催されている国内最大の国民スポーツの祭典です。

「冬季大会」と「本大会」の競技得点の合計を競う都道府県対抗方式で開催され、天皇杯（男女総合成績1位）・皇后杯（女子総合成績1位）の獲得を目指し、都道府県代表の選手が各競技で熱い戦いを繰り広げます。

青森県で開催する国スポでは、競技得点の加点対象となる「正式競技」のほか、「特別競技」、「公開競技」、「デモンストレーションスポーツ」といった競技を実施することになります。

#### 第80回国民スポーツ大会（本大会）における実施予定競技

区分	競技名
正式競技（37競技）	陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
特別競技（1競技）	高等学校野球
公開競技（7競技）	綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック
デモンストレーションスポーツ	地方スポーツの推進、国民の健康増進・体力の向上等をはじめ、国民のスポーツ推進を図るため、県内居住者を対象として実施する競技（今後選定）

### 2 国民スポーツ大会のあゆみ ※過去時点での名称となっております。

国民スポーツ大会は、国民体育大会（国体）の名称で、戦後の混乱期の中で国民に希望と勇気を与えるため、昭和21年（1946年）に、京都を中心とした京阪神地域で第1回大会が開催されて以来、毎年、各都道府県の持ち回りで開催されています。

昭和23年（1948年）の第3回福岡県大会から都道府県対抗方式が確立し、天皇杯と皇后杯が創設されました。

昭和63年（1988年）の第43回京都府大会から2巡目に入り、全国を東地区（北海道・東北・関東）、中地区（北信越・東海・近畿）、西地区（中国・四国・九州）の3つに分けて輪番制で開催されています。

当初は、冬季、夏季、秋季の3会期で実施されていた国体は、平成18年（2006年）の第61回兵庫県大会から夏季大会と秋季大会が統合され、以降は冬季大会と本大会の2会期として開催されています。

今般、スポーツ基本法の一部を改正する法律（平成30年7月20日公布）により、国体の略称で親しまれてきた国民体育大会は、2023年の第78回佐賀県大会から、国民スポーツ大会（国スポ）に改称されます。

なお、平成13年（2001年）の第56回宮城県大会からは、国体開催後、開催県で全国障害者スポーツ大会が開催されています。

### 3 国民スポーツ大会の課題と改革 ※過去時点での名称となっております。

第1回大会が開催されて以来、半世紀以上が経過する中で、国内のスポーツレベルの向上と国際化により、トップアスリートが国際大会に関連する大会への出場を重視し、国体への参加を見送ることや、地方自治体の財政状況が厳しさを増す中で、開催地に求められる人的、財政的負担感が増大したことなど、国体を取り巻く状況は変化してきました。

このような状況を踏まえて、公益財団法人日本体育協会（現公益財団法人日本スポーツ協会 以下「日本スポーツ協会」とする。）では、平成15年（2003年）3月に「新しい国民体育大会を求めて～国体改革2003～」を策定し、「大会の充実・活性化」と「大会運営の簡素・効率化」の観点から、トップアスリートの参加促進、夏季大会と秋季大会の一本化、総参加数の削減など、新しい国体に向けた各種改革の取組を進め、さらに、平成25年（2013年）3月には「21世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～」を策定し、少年種別の充実や各競技会の実施規模等の見直しなどの取組も進めているところです。

また、オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京都に決定したことを受け、平成26年（2014年）6月には「国民体育大会における2020年オリンピック対策実行計画」を策定し、継続的なアスリートの発掘・育成・強化の促進のために、オリンピック競技大会の実施競技等で国体において未実施の競技等の一部を追加して競技会を実施しています。

日本スポーツ協会では、引き続き、大会開催経費の負担軽減等、各種諸課題について国スポ改革の取組を推進することとしています。

#### 4 青森県での開催意義

国スポは、国内最大のスポーツの祭典であると同時に、国内トップレベルの競技を身近に観戦することができる絶好の機会であり、全国から沢山の参加者が県内各地を訪れることとなります。また、デモンストレーションスポーツの実施により、競技スポーツばかりではなく、県民の誰もが気軽に参加できる生涯スポーツの推進も図られます。

このような中、青森県で国スポを開催することは、県民のスポーツに対する興味・関心を高めるほか、スポーツによる地域の活性化やスポーツを通じた健康づくりや生きがいづくりの推進、次代を担う子どもたちに夢や希望を与えるなど、本県にとって、新たな活力の創出に繋がるという意味で、大いに意義があり、全国から訪れる多くの参加者へ本県のあらゆる魅力を発信できる貴重な機会でもあります。

## 第2章 第80回国民スポーツ大会の基本目標と目指す方向

### 1 基本目標

#### オールあおもりで感動を創出し、県民のレガシー（遺産）とする

青森県で開催する第80回国民スポーツ大会が、県民力を結集し、青森らしさあふれる大会となるよう、開催準備段階から感動が創出されるとともに、様々な取組が開催後の本県活力へ繋がることを目指して、「オールあおもりで感動を創出し、県民のレガシー（遺産）とする」ことを基本目標と定めます。

また、基本目標の実現に向けて次の3つの項目を大きな柱として、様々な取組を展開していきます。

### 2 目指す方向

#### （1）県民の誰もがスポーツに親しむ国スポ

本県選手が活躍するとともに、県民の誰もが、スポーツの楽しさや素晴らしさを実感し、国スポ開催時のみならず、開催後もスポーツに親しむ大会を目指します。

#### （2）県民が自発的、積極的に参加する国スポ

県民一人ひとりが持つ知恵や力が、開催準備段階から発揮され、開催時にそれらが結集することで、大きな県民力となる大会を目指します。

#### （3）来県者を熱い心でおもてなしする国スポ

大会に参加する来県者を心から歓迎するとともに、青森県のあらゆる魅力を発信するなど、熱い心でおもてなしする大会を目指します。

### 第3章 基本目標の実現に向けた取組

#### 1 県民の誰もがスポーツに親しむ国スポ

##### (1) スポーツを通じた健康づくり、生きがいづくりの推進

- ・ 県民一人ひとりが、年間を通して身近で気軽に取り組めるよう、地域におけるスポーツ教室や健康づくり教室、スポーツイベント等の情報を発信するなど、地域のスポーツ活動を推進します。
- ・ 国スポ開催後に開催が予定されている全国障害者スポーツ大会に向け、障害者のスポーツ活動への理解や普及・啓発、発展に努めます。
- ・ 国スポ実施競技のうち、デモンストレーションスポーツについては、生涯スポーツの推進のためにも、可能な限り様々な競技を県内各地で開催します。

##### (2) 将来にわたり持続可能な競技力の向上

- ・ 県内関係分野の機関・団体等で構成する県競技力向上対策本部による競技力向上の推進体制の充実を図ります。
- ・ 継続的な指導体制の確立のため、指導者の計画的な養成及び資質の向上を図ります。
- ・ ジュニア期からの選手の発掘を行い、国スポ等の全国大会や、国際大会等で活躍できる選手の育成・強化に努めます。

##### (3) スポーツへの関心の広がり

- ・ 県内ゆかりのアスリートによる、国スポ実施競技の認知度向上を図るとともに、各競技の魅力を発信します。
- ・ 県内で開催するプロスポーツや各種スポーツ大会等について、積極的に周知します。
- ・ 大会開催時には、観戦のために各競技会へ訪れる県内外の多くの方々に対応できるよう、必要な環境整備に努めます。

#### 2 県民が自発的、積極的に参加する国スポ

##### (1) オールあおもりとなる県民運動の推進

- ・ 様々な機会を通じて県民に対し大会開催への理解を図るとともに、多様な広報媒体を活用した効果的な広報活動により開催気運の醸成を図ります。
- ・ 子どもや学生をはじめ、働き世代、高齢者など、広く県民が、自発的、積極的に参加する多彩な県民運動を展開します。
- ・ 企業やNPO等が持つノウハウや発想を積極的に取り入れ、協働による取組を行うことにより、効率的・効果的な大会の開催に努めます。

## **(2) ボランティア等の人財育成**

- ・総合開・閉会式や各競技会、総合案内所等で活躍する大会を支えるボランティアを募集・養成します。
- ・競技会の開催に当たる競技役員等について、県内競技団体と連携して計画的に養成します。

## **(3) 県内各地での競技会の開催**

- ・多くの県民が各地域で参画し、スポーツの定着が図れるよう、正式競技、特別競技、公開競技及びデモンストラーションスポーツについて、可能な限り県内各地で分散開催します。
- ・大会運営や準備に当たっては、公共交通機関等の利用促進を図るなど、環境への配慮に努めます。
- ・同一競技を共同で開催する市町村間では、競技会開催に係る宿泊や輸送、地域の魅力発信などについて、連携した取組を進めます。

## **3 来県者を熱い心でおもてなしする国スポ**

### **(1) あおもりのあらゆる魅力の発信**

- ・あおもりの自然・歴史・文化・食・物産等のあらゆる魅力について、全国の方々に開催前から注目されるよう、観光関連団体等と連携をしながら効果的、複合的に全国へ発信します。
- ・競技会会場地周辺をはじめ、周辺市町村へも来県者が訪れたいくなるよう、地域の魅力発信に取り組みます。

### **(2) 来県者との交流の促進**

- ・県内の駅や空港など交通の主要な場所に、来県者を歓迎し、大会や観光等の様々な情報が入手できる総合案内所を設置します。
- ・総合開・閉会式や各競技会会場では、参加選手等と県民との交流が図られるよう、機会の充実に努めます。
- ・全ての参加選手が、その力を十分に発揮できるよう、本県選手はもちろんのこと、他都道府県選手の応援も行うことで、大会全体を盛り上げます。

### **(3) 来県者等へのおもてなしの推進**

- ・参加者や来県者、関係者等が、必要な情報を容易に入手できるよう、ICTを活用するなどした環境整備に努めます。
- ・県民一人ひとりが、来県者を歓迎し、まごころや親切心を持って接するなど、心のこもったおもてなしに努めます。

## 第4章 「スポーツが盛んな青森県」の実現に向けて

全国的な人口減少や少子・高齢化に加え、青森県は平均寿命が男女とも全国最下位の状況にあります。スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進など、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものであり、県民一人ひとりが、健やかな生命と心を育み、豊かな暮らしを送ることができる活力ある長寿県（健康長寿県）を目指す青森県にとって、スポーツの推進は大変重要な要素であると言えます。

このような中、あすなろ国体以来48年ぶりに青森県で開催する国スポを、様々な課題解決の絶好の機会と捉え、よりよい青森県づくりのために国スポ開催を成功させることはもちろんのこと、国スポ開催後にもその効果が持続することが重要です。

競技力の向上や地域スポーツの推進により、スポーツを「する」人が増えることは、全国大会や国際大会で多くの選手が活躍し、県民に活力を与えるとともに子どもたちへ夢や希望、勇気を与えることができます。また、多くの県民がスポーツに親しみ、日常的にスポーツに取り組むこととなり、健康長寿県へつながります。

国スポ開催を通じたスポーツへの関心の広がりにより、スポーツを「みる」人が増えることは、県民のスポーツへの興味・関心を高め、スポーツ観戦の楽しさや素晴らしさを理解し、プロスポーツや各種スポーツ大会が賑わい、地域経済へも好影響をもたらすことができます。

大会ボランティアや競技役員等が養成され、大会期間中を通して活躍することにより、スポーツを「ささえる」人が増えることは、国スポ開催後の青森県のスポーツ活動の基盤となり、地域活動への意識が醸成され、地域が更なる発展をするための活力にもなります。

このように県民が様々な形でスポーツに関わることは、県民一人ひとりの貴重な財産となり、青森県が目指す「スポーツが盛んな青森県」の実現へ向けての大きな原動力となります。国スポ開催後も多くの人財が活躍し、スポーツを通して地域が活性化されるよう、2025年、国内最大のスポーツの祭典である第80回国民スポーツ大会の開催に向け、県民の総力を結集し、オールあおもりで取り組んでいきます。

平成30年12月21日  
第5回常任委員会 決定

## 第80回国民スポーツ大会正式競技追加競技種目・種別等の変更

No	開催市町村名	競技・種目名	種別	
			変更前	変更後(追加後)
1	青森市	水泳・水球	少年男子	少年男子 女子
2	十和田市	サッカー	女子	成年女子
3	五戸町	サッカー	成年男子 女子	成年女子 少年女子
4	南部町	サッカー	成年男子	少年女子

平成30年12月21日  
第5回常任委員会 決定

### 第80回国民スポーツ大会競技会場の変更

No	競技・種目名		種別	市町村名	開催予定施設	
					変更前	変更後
1	水泳	OWS	全種別	青森市	変更前	青森市特設OWS会場
					変更後	サンセットビーチあさむし特設会場
2	ソフトボール		少年男子	東北町	変更前	東北町南総合運動公園 東北町北総合運動公園
					変更後	東北町南総合運動公園
			少年女子	三沢市	変更前	三沢市民運動公園広場野球場 三沢市南山屋外運動場
					変更後	三沢市南山屋外運動場
3	ラグビー	7人制	成年男子 女子	八戸市	変更前	八戸市多賀多目的運動場 八戸市東運動公園陸上競技場 八戸市南郷陸上競技場
					変更後	八戸市多賀多目的運動場
	フットボール	15人制	少年男子	青森市	変更前	青森市スポーツ広場ラグビー場 青森市スポーツ広場多目的グラウンド 新青森県総合運動公園球技場
					変更後	青森市スポーツ広場ラグビー場 青森市スポーツ広場多目的グラウンド

平成30年12月21日  
第5回常任委員会 決定

## 第80回国民スポーツ大会会場地市町村第四次選定

### ○正式競技

#### 【市町村別】

No	市町村名	競技・種目名		種別	開催予定施設
1	青森市	バレーボール	ビーチバレーボール	少年男女	サンセットビーチあさむし特設会場
2	弘前市	体操	トランポリン	全種別	青森県武道館
3	三沢市	ホッケー		全種別	青森県立三沢高等学校グラウンド
4	六ヶ所村	ホッケー		全種別	六ヶ所村内子内農山村広場多目的広場
5	宮城県利府町	水泳	飛込	全種別	宮城県総合運動公園グランディ・21総合プール
6	県外	馬術	馬場馬術 障害馬術	全種別	※今後調整

#### 【競技別】

No	競技・種目名		種別	市町村名	開催予定施設
1	水泳	飛込	全種別	宮城県利府町	宮城県総合運動公園グランディ・21総合プール
2	バレーボール	ビーチバレーボール	少年男女	青森市	サンセットビーチあさむし特設会場
3	体操	トランポリン	全種別	弘前市	青森県武道館
4	ホッケー		全種別	三沢市	青森県立三沢高等学校グラウンド
				六ヶ所村	六ヶ所村内子内農山村広場多目的広場
5	馬術	馬場馬術 障害馬術	全種別	県外	※今後調整

### ○公開競技

#### 【市町村別】

No	市町村名	競技・種目名	種別	開催予定施設
1	十和田市	ゲートボール	全種別	十和田市若葉球技場
2	三沢市	武術太極拳	全種別	三沢市国際交流スポーツセンター

#### 【競技別】

No	競技・種目名	種別	市町村名	開催予定施設
1	ゲートボール	全種別	十和田市	十和田市若葉球技場
2	武術太極拳	全種別	三沢市	三沢市国際交流スポーツセンター

#### (留意事項)

開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体正規視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

平成30年12月21日  
第5回常任委員会 決定

第80回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ会場地市町村第一次選定

【市町村別】

No	市町村名	競技名	競技予定会場	主管団体名
1	十和田市	パークゴルフ	八甲田パノラマパークゴルフ場	青森県パークゴルフ協会連合会
2	むつ市	フライングディスク	しもきた克雪ドーム及びウェルネスはらっばる	青森県フライングディスク協会
3	今別町	年齢別バドミントン	いまべつ総合体育館	青森県バドミントン協会
4	蓬田村	3B体操	蓬田村農業者トレーニングセンター	日本3B体操協会青森県支部
5	外ヶ浜町	ペタンク	外ヶ浜町立蟹田小学校グラウンド	青森県ペタンク協会
6	鱒ヶ沢町	マスターズスイミング	鱒ヶ沢町室内温水プール	青森県水泳連盟
7	深浦町	ノルディックウォーキング	深浦町内野外コース	深浦町教育委員会
8	藤崎町	スポーツ吹矢	スポーツプラザ藤崎	青森県スポーツ吹矢協会
9	大鰯町	パラグライディング	大鰯温泉スキー場及び大鰯あじやら公園ラグビー場	青森県ハング・パラグライディング連盟
		オリエンテーリング	大鰯町地域交流センター鰯come及び町内	青森県オリエンテーリング協会
10	田舎館村	ユニカール	田舎館村民体育館	青森県ユニカール協会
11	板柳町	ふれあいゲートボール	板柳町民ゲートボール場	青森県ゲートボール協会
		ウォーキング	板柳町内	青森県ウォーキング協会
12	鶴田町	マラソン&ウォーキング	津軽富士見湖周辺	鶴田町体育協会
13	中泊町	ビーチサッカー	中泊町折腰内ビーチ	中泊町ビーチサッカーinこどもり実行委員会
14	横浜町	マラソン	横浜町大豆田地区特設会場	菜の花フェスティバル実行委員会
15	東北町	女子ソフトボール	東北町南運動公園ソフトボール場 東北町南運動公園多目的運動場	青森県ソフトボール協会
16	おいらせ町	スポーツチャンバラ	おいらせ町民交流センター	青森県スポーツチャンバラ協会
		ファイン・ボール	おいらせ町下田公園キャンプ場及びイベント広場	日本ファイン・ボール協会
		空道	おいらせ町いちょう公園体育館	青森県空道協会
17	大間町	ウォーキング	大間町内	大間町住民福祉課
18	東通村	ソフトバレーボール	東通村体育館	東通村スポーツフェスティバル実行委員会
19	風間浦村	ノルディックウォーキング	風間浦村内	風間浦村村民生活課
20	佐井村	ふれあいソフトボール	佐井村立佐井中学校グラウンド	佐井村スポーツ推進委員協議会
21	三戸町	パークゴルフ	さんのへパークゴルフ場	青森県パークゴルフ協会連合会
22	田子町	マラソン	創遊村229スキーランド特設コース	スポネットたっこ
23	階上町	フロアボール	階上町立道仏中学校	青森県フロアボール連盟
24	新郷村	ウォーキング	新郷村内	三ツ岳スポーツクラブ

【競技別】

No	競技名	市町村名	競技予定会場	主管団体名
1	パークゴルフ	十和田市	八甲田パノラマパークゴルフ場	青森県パークゴルフ協会連合会
		三戸町	さんのへパークゴルフ場	
2	フライングディスク	むつ市	しもきた克雪ドーム及びウェルネスはらっばる	青森県フライングディスク協会
3	年齢別バドミントン	今別町	いまべつ総合体育館	青森県バドミントン協会
4	3B体操	蓬田村	蓬田村農業者トレーニングセンター	日本3B体操協会青森県支部
5	ペタンク	外ヶ浜町	外ヶ浜町立蟹田小学校グラウンド	青森県ペタンク協会
6	マスターズスイミング	鱒ヶ沢町	鱒ヶ沢町室内温水プール	青森県水泳連盟
7	ノルディックウォーキング	深浦町	深浦町内野外コース	深浦町教育委員会
		風間浦村	風間浦村内	風間浦村村民生活課
8	スポーツ吹矢	藤崎町	スポーツプラザ藤崎	青森県スポーツ吹矢協会
9	パラグライディング	大鰐町	大鰐温泉スキー場及び大鰐あじやら公園ラグビー場	青森県ハング・パラグライディング連盟
10	オリエンテーリング		大鰐町地域交流センター鰐come及び町内	青森県オリエンテーリング協会
11	ユニカール	田舎館村	田舎館村民体育館	青森県ユニカール協会
12	ふれあいゲートボール	板柳町	板柳町民ゲートボール場	青森県ゲートボール協会
13	マラソン&ウォーキング	鶴田町	津軽富士見湖周辺	鶴田町体育協会
14	ビーチサッカー	中泊町	中泊町折腰内ビーチ	中泊町ビーチサッカーinこども実行委員会
15	マラソン	横浜町	横浜町大豆田地区特設会場	菜の花フェスティバル実行委員会
		田子町	創遊村229スキーランド特設コース	スポネットたっこ
16	女子ソフトボール	東北町	東北町南運動公園ソフトボール場 東北町南運動公園多目的運動場	青森県ソフトボール協会
17	スポーツチャンバラ	おいらせ町	おいらせ町民交流センター	青森県スポーツチャンバラ協会
18	ファイン・ボール		おいらせ町下田公園キャンプ場及びイベント広場	日本ファイン・ボール協会
19	空道		おいらせ町いちょう公園体育館	青森県空道協会
20	ウォーキング	板柳町	板柳町内	青森県ウォーキング協会
		大間町	大間町内	大間町住民福祉課
		新郷村	新郷村内	三ツ岳スポーツクラブ
21	ふれあいソフトボール	佐井村	佐井村立佐井中学校グラウンド	佐井村スポーツ推進委員協議会
22	ソフトバレーボール	東通村	東通村体育館	東通村スポーツフェスティバル実行委員会
23	フロアボール	階上町	階上町立道仏中学校	青森県フロアボール連盟

(留意事項)

開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後会場の変更が生じる場合がある。

## 第80回国民スポーツ大会審判員・要資格運営員養成計画改正

### 1 養成目標数

第80回国民スポーツ大会審判員・要資格運営員の養成目標数を別表1のとおり  
951名から984名に改正する。

### 2 養成年次計画

第80回国民スポーツ大会審判員・要資格運営員養成年次計画（〈別表2・3〉）を  
改正する。

### 3 その他

平成31年度以降は競技運営専門委員会の報告事項として養成事業の進捗状況  
を報告する。

第80回国民スポーツ大会審判員・要資格運営員養成目標数

No.	内訳 競技名	競技 役員数	資格が必要な競技役員数			県外からの派遣数			県内 必要数 ⑦= ③-⑥	開催時 従事 見込数 ⑧	不足数 ⑨= ⑦-⑧	養 成 目 標 数	養 成 目 標 数 (29年度)
			審判員 ①	要資格 運営員 ②	計 ③= ①+②	中央 ④	近県 ⑤	計 ⑥= ④+⑤					
1	陸上競技	427	310	0	310	17	0	17	293	293	0	0	0
2	水泳	390	133	163	296	47	73	120	176	119	57	75	96
3	サッカー	427	88	33	121	63	28	91	30	7	23	30	30
4	テニス	158	80	13	93	0	0	0	93	3	90	118	92
5	ボート	120	33	34	67	17	15	32	35	34	1	2	2
6	ホッケー	91	20	14	34	30	0	30	4	0	4	6	6
7	バレーボール	249	64	0	64	4	15	19	45	26	19	25	26
8	体操	364	89	18	107	55	21	76	31	18	13	18	18
9	バスケットボール	278	101	21	122	32	35	67	55	52	3	4	4
10	レスリング	183	36	14	50	36	10	46	4	0	4	6	6
11	セーリング	219	28	54	82	26	19	45	37	4	33	45	21
12	ウエイトリフティング	116	27	0	27	3	12	15	12	5	7	10	10
13	ハンドボール	181	39	0	39	39	0	39	0	0	0	0	0
14	自転車	211	152	14	166	61	40	101	65	62	3	5	15
15	ソフトテニス	182	96	0	96	2	25	27	69	61	8	11	15
16	卓球	192	96	0	96	19	11	30	66	60	6	8	8
17	軟式野球	256	64	0	64	4	5	9	55	32	23	30	25
18	相撲	169	60	0	60	7	8	15	45	22	23	30	30
19	馬術	200	46	4	50	31	14	45	5	2	3	4	6
20	フェンシング	102	25	0	25	15	0	15	10	5	5	7	15
21	柔道	127	31	31	62	33	0	33	29	15	14	19	3
22	ソフトボール	372	80	49	129	16	24	40	89	29	60	79	66
23	バドミントン	307	212	0	212	11	10	21	191	143	48	64	89
24	弓道	148	36	46	82	1	23	24	58	52	6	9	0
25	ライフル射撃	139	38	58	96	28	68	96	0	0	0	0	0
26	剣道	113	27	0	27	27	0	27	0	0	0	0	0
27	ラグビーフットボール	117	40	0	40	3	10	13	27	13	14	19	21
28	スポーツクライミング	135	23	108	131	25	8	33	98	5	93	122	122
29	カヌー	248	165	0	165	37	80	117	48	14	34	46	46
30	アーチェリー	95	40	24	64	6	14	20	44	17	27	37	15
31	空手道	188	43	0	43	33	5	38	5	0	5	7	6
32	銃剣道	99	27	38	65	14	2	16	49	2	47	61	63
33	クレー射撃	100	34	18	52	15	0	15	37	12	25	33	33
34	なぎなた	112	21	0	21	21	0	21	0	0	0	0	0
35	ボウリング	148	38	10	48	3	0	3	45	34	11	15	15
36	ゴルフ	162	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	トライアスロン	122	84	0	84	6	35	41	43	14	29	39	47
38	高校野球	144	35	0	35	0	0	0	35	35	0	0	0
合 計		7,391	2,561	764	3,325	787	610	1,397	1,928	1,190	738	<b>984</b>	951

<別表2>

第80回国民スポーツ大会審判員・要資格運営員養成年次計画  
【資格取得】

No.	内訳 競技名	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	延養成数	延養成数 (29年度)
		(8年前) 実績	(7年前)	(6年前)	(5年前)	(4年前)	(3年前)	(2年前)	(1年前)	(開催年)		
1	陸上競技	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	水泳	0	12	12	12	12	12	12	3	0	75	108
3	サッカー	1	5	4	4	5	5	5	2	0	31	30
4	テニス	0	15	32	20	22	19	16	13	0	137	111
5	ボート	0	0	0	2	2	0	0	0	0	4	4
6	ホッケー	0	6	0	0	2	0	0	0	0	8	6
7	バレーボール	4	3	5	3	6	4	6	4	2	37	36
8	体操	4	7	6	9	8	7	6	5	2	54	52
9	バスケットボール	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4	8
10	レスリング	0	0	1	1	1	1	1	1	0	6	6
11	セーリング	0	4	7	13	10	12	5	4	0	55	31
12	ウエイトリフティング	0	0	0	2	2	2	2	2	0	10	10
13	ハンドボール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	自転車	1	0	2	4	5	0	0	0	0	12	18
15	ソフトテニス	2	2	2	2	2	2	1	0	0	13	15
16	卓球	10	0	6	5	0	0	1	0	0	22	12
17	軟式野球	0	7	7	7	6	5	5	0	0	37	27
18	相撲	5	0	0	6	6	6	6	6	0	35	60
19	馬術	0	0	2	2	0	0	0	0	0	4	6
20	フェンシング	0	0	2	2	2	1	0	0	0	7	15
21	柔道	0	3	5	5	5	4	2	2	0	26	6
22	ソフトボール	5	11	30	21	27	26	13	19	0	152	89
23	バドミントン	0	10	10	23	23	25	20	0	0	111	138
24	弓道	0	1	3	2	2	1	0	0	0	9	0
25	ライフル射撃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	ラグビーフットボール	2	4	5	5	4	3	3	2	0	28	21
28	スポーツクライミング	0	6	3	40	39	20	18	0	0	126	126
29	カヌー	0	11	9	12	10	11	3	0	0	56	56
30	アーチェリー	3	11	14	9	5	5	9	8	0	64	18
31	空手道	0	1	1	1	1	1	1	1	0	7	6
32	銃剣道	0	19	23	17	6	23	16	18	7	129	87
33	クレール射撃	0	9	6	6	10	6	6	2	0	45	45
34	なぎなた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	ボウリング	34	3	0	7	0	9	0	0	0	53	53
36	ゴルフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	トライアスロン	0	12	14	7	19	7	1	0	0	60	72
38	高校野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		71	162	215	249	242	217	158	92	11	1,417	1,272

<別表3>

第80回国民スポーツ大会審判員・要資格運営員養成年次計画  
【資格維持・資質向上】

No.	内訳 競技名	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	計	計 (29年度)
		(8年前) 実績	(7年前)	(6年前)	(5年前)	(4年前)	(3年前)	(2年前)	(1年前)	(開催年)		
1	陸上競技	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	水泳	74	119	131	143	155	167	179	191	194	1,353	1,032
3	サッカー	7	7	12	16	20	25	30	35	37	189	198
4	テニス	3	3	16	43	56	74	92	108	121	516	415
5	ボート	35	34	34	34	34	36	36	36	36	315	323
6	ホッケー	0	0	6	6	4	6	6	6	6	40	18
7	バレーボール	25	26	27	32	33	39	41	47	49	319	330
8	体操	18	17	24	25	28	29	30	31	34	236	236
9	バスケットボール	52	56	52	56	56	56	56	56	56	496	482
10	レスリング	9	6	5	5	5	5	5	5	6	51	48
11	セーリング	4	4	8	12	25	29	40	45	49	216	105
12	ウエイトリフティング	15	15	15	13	13	13	13	13	15	125	125
13	ハンドボール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	自転車	71	63	63	63	62	67	67	67	67	590	630
15	ソフトテニス	71	70	70	70	70	70	71	72	72	636	642
16	卓球	21	68	62	63	68	68	67	68	68	553	600
17	軟式野球	59	50	52	54	56	57	57	62	62	509	520
18	相撲	22	22	22	22	28	34	40	46	52	288	333
19	馬術	0	2	0	0	2	2	2	2	2	12	18
20	フェンシング	0	5	5	7	9	11	12	12	12	73	71
21	柔道	33	31	29	29	29	30	32	32	34	279	312
22	ソフトボール	145	95	78	87	81	82	95	89	108	860	823
23	バドミントン	143	143	152	149	160	169	186	207	206	1,515	1,477
24	弓道	46	53	53	56	58	60	61	61	61	509	288
25	ライフル射撃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	ラグビーフットボール	11	23	24	26	28	29	29	30	32	232	191
28	スポーツクライミング	5	5	11	13	52	90	109	127	127	539	542
29	カヌー	0	14	25	31	41	46	57	60	60	334	295
30	アーチェリー	19	11	13	23	32	37	39	46	54	274	117
31	空手道	7	6	6	6	6	6	6	6	7	56	65
32	銃剣道	17	13	24	46	57	40	47	45	56	345	312
33	クレー射撃	12	4	13	19	21	31	37	43	45	225	252
34	なぎなた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	ボウリング	29	38	41	34	41	32	41	41	41	338	532
36	ゴルフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	トライアスロン	5	12	17	31	26	45	52	53	53	294	288
38	高校野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		958	1,015	1,090	1,214	1,356	1,485	1,635	1,742	1,822	12,317	11,620

## 第80回国民スポーツ大会県民運動基本方針

### 1 目的

第80回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）の県民運動は、県民一人ひとりが様々な形で大会へ参加、協力し、理解を深めることにより、スポーツに関わる楽しさと、感動を分かち合うとともに、来県者を熱いおもてなしの心で迎える大会の実現を目指して展開する。

また、大会の開催を契機に、県民が年間を通してスポーツに親しみ、スポーツを通じた健康づくりや生きがいづくりの取り組みを県全体に広めるとともに、本県の魅力発信や活力あふれる地域づくりに寄与することを目的とする。

### 2 基本目標

- (1) すべての県民が、大会イベントやボランティア活動などに主体的に参加し、地域が一体となって大会を盛り上げる。
- (2) すべての県民が、スポーツを「する」「みる」「ささえる」など様々な関わりを通じて、生涯にわたりスポーツ活動に親しむ。
- (3) すべての県民が、来県者を熱いおもてなしの心で迎える。
- (4) すべての県民が、来県者との交流を通じて、青森県の多彩な魅力を発信する。

### 3 運動の進め方

- (1) 県民運動は、県民一人ひとりの様々な活動への自発的、積極的な参加を基本として推進する。
- (2) 県準備（実行）委員会は、県民運動の全県的な推進計画を定め、普及・啓発活動を行うとともに、市町村や各種団体等と連携を図り、全県的な運動を展開する。
- (3) 市町村準備（実行）委員会は、県民運動の普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力して、地域の特性に応じた活動を推進する。
- (4) 関係機関・団体、学校、企業、NPO、ボランティア団体等は、県や市町村と連携を図りながら、それぞれの特色を活かした活動を積極的に行う。